

製品名: LC3B ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21536**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG,Kappa |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | プロテイン A |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW:14kD,16kD;Observed MW:14kD,16kD |

抗原情報

| | |
|--------------|----------|
| 遺伝子名 | MAP1LC3B |
| 別名 | MAP1LC3B |
| 遺伝子 ID | 81631.0 |
| SwissProt ID | Q9GZQ8 |
| 免疫原 | - |

背景

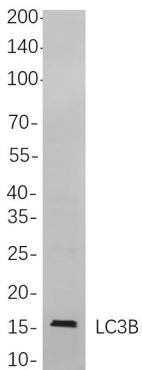
細胞局在: 細胞質。この遺伝子産物は、神経細胞の微小管関連タンパク質 MAP1A および MAP1B のサブユニットであり、微小管の組み立てに関与し、神経新生に重要である。ラットホモログを用いた研究では、この遺伝子が細胞質成分の大量分解を伴うプロセス

であるオートファジーに関与していることが示唆されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

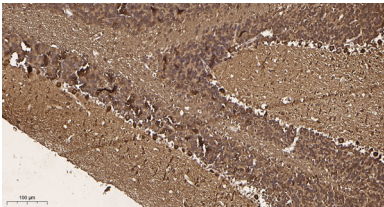
画像データ



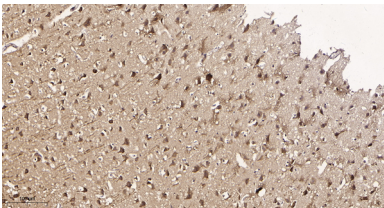
LC3B ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用しました。



パラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。1、LC3B ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体賦活化には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分) 3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。1、LC3B ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。1、LC3B ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。